

低温研共同利用集会：「陸域と沿岸を繋ぐ問題点抽出のためのワークショップ」

日時：平成 28 年度 11 月 18 日（金）13 時～18 時 30 分予定

場所：北海道大学低温科学研究所 2F 会議室

研究代表者：長尾誠也、世話人：環オホーツク観測研究センター一同

趣旨説明

低温研共同推進プログラムでは、陸海結合システムの研究のネットワークを構築し、この研究者コミュニティでの共同研究の立ち上げを目指している。本年度は、陸域-河川-沿岸研究に焦点を絞り、陸域-河川-沿岸研究をさらに沖合の研究と融合させるための問題点を抽出することを目的とした WS を開催する。

参加者：

長尾 誠也（金沢大学・環日本海域環境研究センター）
大西 健夫（岐阜大学応用生物科学部）
木田 新一郎（九州大学・応力研）
黒田 寛（北海道区水産研究所）
田中 潔（東京大学大気海洋研究所）
谷内 由貴子（北海道区水産研究所）
長坂 晶子（北海道総合研究機構）
中田 聡史（神戸大学大学院海事科学研究科）
松村 義正（北海道大学・低温科学研究所）
三寺 史夫（北海道大学・低温科学研究所）
白岩 孝行（北海道大学・低温科学研究所）
中村 知裕（北海道大学・低温科学研究所）
的場 澄人（北海道大学・低温科学研究所）
西岡 純（北海道大学・低温科学研究所）

スケジュール

13:00-13:10 趣旨説明

第一部

話題提供（講演 30 分＋質疑応答（課題抽出作業）10 分）

13:10-13:40 「アムール川における溶存鉄濃度の長期変動とその要因分析－凍土の凍結融解に着目して－」
大西 健夫（岐阜大学応用生物科学部）

13:40-14:10 「川がつなぐ里と海－北海道東部・風蓮湖流域プロジェクトから示唆されること－」
長坂 晶子（北海道総合研究機構）

14:10-14:40 「川から海への物理は正しく表現できているのか？」 木田 新一郎（九州大学・応力研）

14:40-15:00 休憩

15:00-15:30 「有色溶存有機物（CDOM）の観測：陸海連関の理解への鍵」
中田 聡史（神戸大学大学院海事科学研究科）

15:30-16:00 「現在構想中の道東域をモデル地域とした海－陸結合研究」 黒田 寛（北海道区水産研究所）

16:00-16:30 「極沿岸域と大陸棚をつなぐモニタリング研究」 谷内由貴子（北海道区水産研究所）

16:30-17:00 「今後の陸域結合システム研究の構想」 三寺 史夫（北海道大学・低温科学研究所）

第二部

17:00-18:30 課題抽出整理

終了後・懇親会